

## 第6学年 国語科学習指導案

児童 男子18名 女子16名 計34名  
授業者 長 畑 美 穂

### 1 単元名 自分の考えを明確に伝えよう

教材名 「平和」について考える 〈資料〉平和のとりでを築く(光村)

補助教材 長崎平和宣言の記事「ヒバクもう二度と」(8月10日朝日新聞)

大震災から5ヶ月「手を合わせる前向きのために」(8月12日朝日新聞)

ソマリア内戦の記事「食料求め 戦乱の都へ」「飢饉・戦闘続く苦しみ」

(7月27日朝日新聞)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童は5年生の時に、「人と『もの』との付き合い方 〈資料〉ごみ問題ってなあに(話す・聞く)(書く)」を学習した。「書くこと」では、パネルディスカッションのための調べ活動(環境問題に関する新聞記事を読み、自分が考えたことを書く)を通して、考えたことを明確に表現できるように、双括型の文章構成で書くことを学習した。そして「話すこと・聞くこと」では、パネルディスカッションを通して、「目的に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫して(双括型)」話すことや「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめて」聞くことを学習した。

6年生になってからは、「ようこそわたしたちの町へ(書く)」では、「5年生に修学旅行の魅力を伝えるパンフレットを作ろう」という学習課題で、効果的な構成や材料(写真や図)の配置、記述を考えて編集し、修学旅行の楽しさと青森の魅力が明確に伝わるようにグループで協力しあって巨大パンフレットを書き上げ、5年生に感想を書いてもらい、交流した。また「学級討論会をしよう(話す・聞く)」では、情報を集め、ディベート形式の討論会を体験した。

新聞を活用した学習として、昨年度から二つの活動を続けている。一つ目は、話すこと・聞くことの力をつけるために、朝の会の時に日直2名が新聞記事のスクラップを紹介する活動である。話し手となった子どもたちは、自分の選んだ記事をうれしそうに友達に紹介している。聞き手の子には質問や感想を言う場を設けている。二つ目は、読むことの力、書くことの力をつけるために、朝活動の時間と家庭学習を使って、教師が選んだ記事をスクラップし、意味調べと要約、意見を書き、それを友達同士で交換して読んで、感想を書き合う活動も行っている。

本学級の児童は明るく元気で、仲間意識も高く、学習に意欲的である。四年生のときから、新聞づくりに取り組んでいるせいも、書くことに抵抗を見せる子は少なく、楽しみながら自分の感じたことや考えたことを書いている。しかし、自分の意見を明確に伝わるように話の構成を工夫して話せる子がいる一方で、聞いた内容をすぐに理解し、自分の考えと比べて、より自分の考えを深めることが難しい子もいる。

#### (2) 教材について

本単元は、書くことの目標「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」ために、「意見文を書く」言語活動と話す・聞くことの目標「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」ために「スピーチで主張する。」という言語活動の二つを想定した単元である。また、意見文を書くにあたり、「自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章を読む」活動も組み込まれている。この場合の文章には、新聞・雑誌など種々の媒体が含まれる。

一つ目の言語活動「意見文を書く」ために、「〈資料〉平和のとりでを築く」を足がかりとして読み、自分の課題「仮の要旨」を持たせる。自分の課題を解決するために、新聞・雑誌など様々な媒体の文章を読んだり、テレビ番組などで取り上げられている意見や解説を利用したりして、調べていく。調べる中で「仮の要旨」から「確定した要旨」へ移行させ、意見文を書くことをねらいとし

ている。

二つ目の言語活動「スピーチで主張する」においては、意見文をもとに、自分の考えを効果的に伝えることをねらいとしている。

3月の東日本大震災をうけ、世の中が不安な状況にあるなか、本単元の学習を通して「平和」について、じっくりと考える機会としたい。

### (3) 指導にあたって

「書くこと」においては、「仮の要旨」を設定することが、課題設定にあたり、それが説得力をもつように資料を集めることが取材となる。出会った材料を、その観点で選んだり、関連付けたりする「思考」を働かせなければならない。また、構成に関しては、「意見を述べる文章の構成例」が示されている。ここでも、説得力をもつように工夫する。事実と意見を区別して書くこと、根拠となることを引用して書くこと、それらを、どのような順序で組み立てたら、より説得力をもつかを考えさせたい。当然、書きだし、結びの工夫も同様の観点である。これらの全体が、「才表現の効果を確かめたり工夫したりすること」となる。

「話すこと・聞くこと」の学習においては、「自分の意見が明確になるように話すこと」、「話し手の意図をとらえながら、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」が、指導内容となる。そのとき、話し言葉と書き言葉の違いを意識したり、文章の構成を考えたりすることも重要である。

本単元は、資料「平和のとりでを築く」を手がかりに、「平和について自分の考えをもち、意見文やスピーチにして発信する。」ということが中心である。

したがって、本資料では無目的な読みではなく、目的をもった読み取りが大切になってくる。

「平和とは何か」「平和を壊したのは何か」「平和な世の中がどのようにして崩れていったか」「平和が崩れるとどのような悲惨なことが起こるか」「一度崩れた平和を取り戻すためには、どれほどの労力が必要なのか」「平和を保つために必要なことは何か」などの視点で事実をつかみ、筆者の願いに迫ることがそれである。この視点が、「自分の考えをつくり、必要な資料を集める」活動の下地となる。

これらについて、新聞記事を活用して、児童それぞれが理解を深め、筆者の論理や願いをきっかけに、「平和」についての自分の考えをつくっていくようにしていきたい。

## 3 単元の目標と単元の評価規準

観 点	単 元 の 目 標	単 元 の 評 価 規 準
関心・意欲・態度	○明確な意見をもった文章や新聞などの様々な媒体の文章を読んで、「平和」について自分の考えをまとめて書き、スピーチで発表しようとしている。	○明確な意見をもった文章や新聞などの様々な媒体の文章を読んで、「平和」について自分の考えをまとめて書き、スピーチで発表しようとしている。
書く能力	◎「平和」をめぐる自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を集め、意見を明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考えたり、引用や表現を工夫したりして書くことができる。 (書(1)ア・イ・エ・オ)	○補助教材の新聞記事を比較したり、関係付けたりしながら、「平和」について考えたことを書いている。 ○新聞や本などの資料を集め、「仮の要旨」をまとめている。 ○構成を工夫したり、効果的な資料を引用したりして、意見が明確に伝わる意見文を書いている。 ○友達の意見文に対する感想や表現の助言を伝えている。
話す能力・聞く能力	◎意見文をもとに、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで意見を主張することが	○意見をつたえるために効果的なスピーチの構成や言葉の使い方を考えている。

	<p>できる。</p> <p>(話・聞(1)イ)</p> <p>◎話し手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案をすることができる。</p> <p>(話・聞(1)エ)</p>	<p>○スピーチをするときの音声面での工夫を考えている</p> <p>◎話し手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案をしている。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>○意見文の例を参考に、意見を述べるのに効果的な文章の構成があることを理解することができる。</p> <p>(伝国(1)イ(キ))</p> <p>○書き言葉と話し言葉の違いに気付くことができる。</p> <p>(伝国(1)イ(ア))</p>	<p>○意見文の例を参考に、意見を述べるのに効果的な文章の構成があることを理解している。</p> <p>○書き言葉と話し言葉の違いに気付いている。</p>

#### 4 単元の指導計画と評価規準(全15時間)

次	時間	学習活動	観点		
			関心・意欲・態度	書く能力 話す能力・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
第一次	1	・自分にとって「平和」とは何かを考え、学習の見通しをもつ。	・平和について、自分の考えをもち、意見文を書いたり、スピーチをしたりすることに意欲をもっている。 [発言, ノート]		
	2	・「平和のとりでを築く」を読んで、筆者の平和に対する思いをとらえる。	・「平和のとりでを築く」を読んで、筆者の平和に対する思いをとらえようとしている。 [発言, ノート]		
	3 (本時)	・「平和」をテーマに話し合うことで、「平和」に関する考え方や見方を広げる。	・「平和」について話し合い、自分の考えをまとめようとしている。[発言]	【書く能力】 ・補助教材の新聞記事を比較したり、関係付けたりしながら、「平和」について考えたことを書いている。 [ノート]	

第二次	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えたことをもとに、書きたいこと の中心を「仮の要旨」としてまとめる。</li> </ul>		<b>【書く能力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞や本などいくつかの資料を集め、「仮の要旨」をまとめている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">[ノート]</p>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文の例を参考に、意見を述べるのに効果的な内容や構成を知り、意見文の書き方を理解する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文の例を参考に、意見を述べるのに効果的な文章の構成があることを理解している。</li> </ul> <p style="text-align: center;">[ノート]</p>
	6・7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仮の要旨」の根拠となる事例や出来事等の書く事柄を調べ、引用箇所や出典を整理し、要旨を確定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の要旨に合った、具体例や資料を集めている。[カード]</li> </ul>	<b>【書く能力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「仮の要旨」を検討し、要旨を確定させている。</li> </ul>	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>確定した要旨を効果的に伝え、自分の考えを明確に表現できるような文章の構成を考える。</li> </ul>		<b>【書く能力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。[ノート]</li> </ul>	
	9・10	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成を工夫したり、効果的な資料を引用したりして、意見が明確に伝わる意見文を書きあげる。</li> <li>友達の意見文に感想や表現の助言を伝える。</li> </ul>		<b>【書く能力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成を工夫したり、効果的な資料を引用したりして、意見が明確に伝わる意見文を書いている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">[意見文]</p> <b>【話す能力・聞く能力】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見文に対する感想や表現の助言を伝えている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">[カード]</p>	

第三次	1 1	・意見文とスピーチの内容を比較することを通して、書き言葉と話し言葉の働きの違いに気付くことができる。			・話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。[ノート]
	1 2	・考えたことや伝えたいことをもとに、話題を決め、集めた事例や資料を生かして、スピーチの内容を作り上げることができる。		【話す能力・聞く能力】 ・意見をつたえるために効果的なスピーチの構成や言葉の使い方を考えている。 [ノート]	
	1 3	・目的や意図に応じて、音声面に工夫をし、適切な言葉遣いで話す方法を理解する。		【話す能力・聞く能力】 ・CDを聞いて、スピーチをするときの音声面での工夫を考えている。[ノート]	
	1 4	・自分の考えが効果的に伝わるように、話し方を工夫し、練習する。		【話す能力・聞く能力】 ・自分の考えが効果的に伝わるように、話し方を工夫し、練習している。[観察]	
	1 5	・話し言葉の特性を生かして、効果的なスピーチをする。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。	・話し手の主張を熱心に聞いている。[カード]	【話す能力・聞く能力】 ・話し手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案をしている。 [カード] ・事実と意見を区別して話している。 [スピーチ] ・引用部分を明確にして話している。 [スピーチ] ・話し言葉の特性を生かして効果的なスピーチをしている。 [スピーチ]	

5 本時の指導(3/15時間)

(1) 目標

「平和」をテーマに話し合うことで、「平和」に関する考え方や見方を広げることができる。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
書く能力	<p>補助教材の新聞記事と比較したり、関係付けたりしながら、自分の立場をはっきりさせて、「平和」について自分の考えを書くことができる。また、その根拠を明らかにしている。</p> <p>例 「平和」とは、戦争がなく、だれもが安心して、家族と一緒に生活できることである。 今は「平和」ではないと私は考える。 なぜならば、7月27日の朝日新聞「飢饉・戦闘続く苦しみ」の記事にあるように、現在も世界には戦争があり、食料が不足して病気になり、多くの人々が安心して生活できなくなっているから。</p>	<p>補助教材の新聞記事と比較したり、関係付けたりしながら、自分の立場をはっきりさせて、「平和」について自分の考えを書くことができる。</p> <p>例 「平和」とは、戦争がなく、だれもが安心して、家族と一緒に生活できることである。 今は「平和」ではないと私は考える。 なぜならば、震災があったり、戦争があったり、するから。</p>	<p>板書を手がかりに、「平和」についての考えを持たせる。</p>

(3) 展開

	学習活動 発問及び指示(○) 児童の反応(・)	評価・留意事項 評価(*) 留意事項(・)
つかむ(1分)	<p>1 学習の見通しをもつ。 本時のおおまかな流れをつかみ、前の時間のまとめを読み、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。 「平和」とはなんだろう。</p>	<p>・前時に学習した「平和のとりでを築く」の筆者の思いについて振り返る。</p>

<p>ふかめる(40分)</p>	<p>3 資料—新聞記事を読み、「平和」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクラップした二つの記事の見出しをみんなで読んでみましょう。</li> <li>○ 「平和のとりでを築く」とこの二つの記事や今までにスクラップしてきた記事や読んだ本、テレビで見たことや社会で勉強したこと、自分の体験などを手がかりに考えて、「平和」について考えてみましょう。</li> </ul> <p><b>「平和」とは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みなさんは、どんな時に平和を感じますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と一緒にいるとき。</li> <li>・安心して眠るとき。</li> <li>・おいしいごはんを食べているとき。</li> </ul> </li> <li>○ 平和とはどんな状態のことをいうのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争がない状態。</li> <li>・家族みんなと一緒に生活できる状態。</li> <li>・ごはんがちゃんと食べられる状態。</li> <li>・安心して眠る家がある状態。</li> <li>・電気や水など普通の生活が送れる状態。</li> </ul> </li> </ul>	<p>下記の二つの記事を事前に配布し、スクラップさせておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎平和宣言の記事「ヒバクもう二度と」（8月10日朝日新聞）</li> <li>・大震災から5ヶ月「手を合わせる前向くために」「万の魂とともに」（8月12日朝日新聞）</li> <li>・個々のスクラップノートや読書記録カード等も手元に置かせておく。</li> </ul>
	<p><b>今は「平和」か。「平和」じゃないか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今は、「平和」でしょうか。「平和」ではないでしょうか。隣の人と話し合ってみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和」である。日本は戦争がないから。</li> <li>・「平和」ではない。震災があったから。</li> <li>・「平和」ではない。原発が心配だから。</li> </ul> </li> <li>○ この記事を読んでみましょう。（世界の紛争を伝える記事を配布する。）</li> <li>○ 大事なと思う所に赤線を引きながら読みましょう。</li> <li>○ この記事からわかったことは何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内戦が続いている。</li> <li>・飢饉がおこり、子どもが栄養失調になっている。</li> </ul> </li> <li>○ 今は、「平和」でしょうか。「平和」ではないでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和」ではない。世界にはまだ戦争がある。日本も震災があった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をもとに話し合うように指導する。</li> <li>・ソマリア内戦の記事「食料求め 戦乱の都へ」「飢饉・戦闘続く苦しみ」（7月27日朝日新聞）</li> <li>・電子黒板にも映し出す。</li> </ul>

	<p>4 話し合ったことをもとに、自分なりの考えを書きまとめる。</p> <p>○ 話し合ったいろいろな意見も生かして、「平和」についての自分なりの考えを書きましょう。</p> <p>・「平和」とは、<input type="text"/>である。</p> <p>今は「平和」で<input type="text"/>と私は考える。</p> <p>なぜならば、○月○日の○○新聞の「○○○○」の記事にあるように、<input type="text"/>から。</p> <p>例</p> <p>・「平和」とは、戦争がなく、だれもが安心して、家族と一緒に生活できることである。</p> <p>今は「平和」ではないと私は考える。</p> <p>なぜならば、7月27日の朝日新聞「飢饉・戦闘続く苦しみ」の記事にあるように、現在も世界には戦争があり、食料が不足して病気になり、多くの人々が安心して生活できなくなっているから。</p>	<p>・文例を示し、記述するように指導する。</p> <p>*補助教材の新聞記事を比較したり、関係付けたりしながら、「平和」について考えたことを書くことができたか。(ノート)</p>
<p>まとめ (4分)</p>	<p>5 本時のまとめをし、次の時間の学習の確認をする。</p> <p>○ 今日の学習の感想を發表しましょう。</p> <p>○ 次の時間は、今日考えたことをもとに、書きたいことを中心に「仮の要旨」としてまとめる学習をします。</p>	

(4) 板書計画